2023年 3月27日

たてくろジオパーク だより 第56号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局
〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階 TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204
MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/ https://facebook.com/tatekuro

第3期基本計画・実施計画策定会議 最後の調整へ

策定委員会の様子

3月20日 第4回第3期基本計画策定委員会が開かれました。
1月に行われたワークショップで会員の皆さんのご意見をいただいてから2か月余り、企画部会、ジオガイド人材育成部会、研究教育部会、広報啓発部会、保全部会、ツーリズム部会や部会長会議などで重点項目や細かな実施計画が議論され試案が作られました。
当日の策定委員会では、立山黒部ジオパークの理念をもとに、第2期基本計画の評価を踏まえて、試案における2023年度からの5年間の活動方針と具体的な内容について協議されました。

部会長会議

3月29日には理事会役員会で、4月上旬には支援自治体会議で一層の検討を重ねて定期総会へ上程されます。令和5年度の定期総会は、6月2日（土）入善町で開催の予定です。

令和5年度 ジオパーク散歩

桜の満開も間近。日一日と春めく中、各地域の地形や自然、文化をゆっくり歩いて楽しみませんか？令和5年度のジオパーク散歩を以下のように計画中です。

令和5年
- 4月 朝日町＜参加者募集中：締切4月10日＞
- 5月 宇奈月温泉、滑川市＜締切：5月1日＞
- 6月 魚津市、美女平、称名滝
- 7月 美女平、旧細入村、旧大山町
- 8月 黒部市、上市町、称名滝
- 9月 魚津市、美女平、旧大山町
- 10月 舟橋村、称名滝、芦峅寺、浜黒崎
- 11月 入善町、他1箇所予定

令和6年
- 3月 魚津市

＊現時点での予定であり変更になる場合があります。

第1回 ［ジオ散歩 in 朝日町］ 募集中
〈ヒスイ文化を育んだ宮崎海岸周辺を歩こう〉
- 日　時　4月13日（木） 午前10時～正午
- 集合場所　あいの風とやま鉄道「越中宮崎駅」
- 見学場所　ヒスイ海岸、鹿島樹叢、鹿嶋神社

第2回 ［ジオ散歩 in 宇奈月温泉］ 募集中
〈ジオガイドから開湯100周年宇奈月温泉を学ぼう〉
- 日　時　5月6日（土） 午前10時～正午
- 集合場所　黒部市宇奈月公民館
- 見学場所　駅前広場温泉噴水、やまびこ橋、黒部峡谷鉄道宇奈月駅2階ギャラリー、宇奈月神社 他

第3回 ［ジオ散歩 in 滑川市］
〈意外と知られていない旧北陸街道の発展をひもとく！〉
- 日　時　5月24日（水） 午前10時～正午
- 集合場所　滑川市役所
- 見学場所　松尾芭蕉「宿泊の地」記念碑、藩政時代の船着き場「橋場」、瀬羽町と信仰の道、「旧宮崎酒造」や「養照寺」、「広野家」他

詳細については、HPやSNS、各自治体の広報でお知らせします。どなたでもご参加いただけます。参加費はいずれも300円です。 お申し込みはジオパーク協会へ。
TEL:076-431-2089
E-mail:info@tatekuro.jp

立山黒部ジオパーク TATEYAMA KUROBE GEOPARK

■1 月の活動より

3/7　呉羽山露頭保全作業

呉羽山陶芸館裏の露頭整備

３月７日（火）富山市民俗民芸村陶芸館裏の呉羽山断層露頭を保全する活動が富山大学安江准教授のご指導で行われ、これに参加しました。

３面ある露頭の表面をきれいに整えた後、露頭が劣化するのを防ぐために「tot-s」という薬剤を刷毛を使って丁寧に塗り込みました。この薬剤はアルコールに主成分としてケイ酸を溶かしたもので、地層を構成する粒子の間に浸み込ませます。この薬剤の優れた点は、ケイ酸は粒子と同じ成分なので、粒子同士をつなげる働きをすることです。また、この薬剤の効果を確かめるため、３面ある露頭の表面の整え方を３段階に変化させる取り組みも同時に行いました。今後も、協会として保全活動に取り組んでいきたいと思います。

また、４月よりサイトの保全状況調査を実施します。山岳地域にあるサイトに関しては状況確認には難しい場所も多いことから、まずは平野地域のサイトからスタートしていく予定です。会員やガイドの皆さんも保全に関して気になるサイトなどありましたら協会へお知らせください。

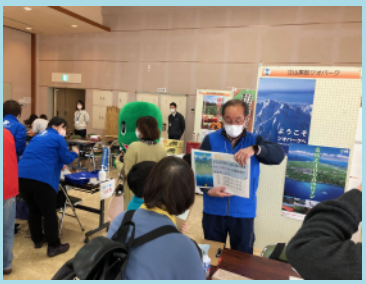
3/11　恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークフェスタ

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークフェスタが開催され、立山黒部ジオパークもフェスタに参加してきました。

ふくい勝山ジオパークのブースの他、白山手取川ジオパーク、勝山恐竜研究会、恐竜の町勝山応援隊、勝山観光ボランティア協会、JA 勝山、他たくさんの方がこのフェスタに出展していらっしゃいました。化石のレプリカ作りや、石を使った飾り作り、輪投げゲームなど、特産物コーナー等ブースもにぎやかです。

立山黒部ジオパークからは、山・川・海をモチーフにしたクイズと、代表的な立山黒部ジオパークの石の展示、磁石を使った石遊びコーナーを出展しました。開催と同時に、たくさんの方々が足を止めてくださいました。

立山黒部ジオパーククイズでは、5 問のクイズでしたが最終問題「富山湾の宝石と呼ばれるのは？」に皆さん大苦戦！「ホタルイカ」？「白エビ」？夜に見られる青白くキラキラ光る姿に「富山と言えばホタルイカ」のイメージが強いようで、答えがホタルイカではないことに困惑。



「水揚げ時の水晶のような透明感と、淡いピンク色をした姿がとても美しいんです。ホタルイカは『富山湾の神秘』なんです…」との専門員の絶妙なヒントで、全問正解に導きました！

石吊りでは磁石に石が付くことに興味津々で、たくさんの子供たちがチャレンジしてくれました。黒っぽい石が磁石につくことを発見して楽しんでいました。

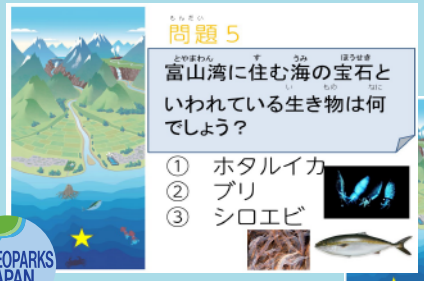
最後に、缶バッチをプレゼント。

おうちの方には、劔岳や称名滝クイズになっていたパンダ石などが人気でしたが、子供たちにはキャラクターのライタ君やねこまた君が人気でした。中には、自分で図柄を選んで缶バッチ作りにチャレンジする子供たちも見られました。

バッチの写真を見ながら「今度、雪の大谷行ってみたいと思ってる」「劔岳って登ったことあるよ」等のお話をしてくださる方もいて、立山黒部ジオパークを体感していただくのが楽しみです。

福井でのイベント参加はちょっと遠くて大変でしたが、立山黒部ジオパークを知っていただけてよかったです。声をからしてクイズを出したかいがありました。

富山でも、拠点施設や会員の方と協力しながら、ジオパークフェスタができるといいなと思いました。ねこまた君の着ぐるみのキャラクターがいると楽しいかもしれません？



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

3/11.16 ガイドスキルアップ研修

3月11日は、当協会の國香研究教育部会長、志村ジオガイド人材育成部会長を講師として＜音沢 黒部川河原ー舟見野段丘＞コースで現地研修を行いました。

気泡が発生

舟見野段丘

音沢周辺の黒部川河原には、黒部川花崗岩（パンダ石）や石灰岩などの石が点在していました。河原の石にトイレ用洗剤（塩酸）をかけ、気泡（二酸化炭素）が発生していることからその石が石灰岩であることを証明する実験を行いました。河原から石灰岩の大きな露頭や黒部川の様々な石を見ることができました。

16日は、黒部市吉田科学館の野寺学芸員、國香部会長、志村部会長、ジオガイドの山本隆治氏を講師とした＜愛本堰堤ー愛本橋ー黒部川神社ー愛本姫社＞コースでの現地研修です。愛本橋では、山口県の錦帯橋、山梨県の猿橋とならび日本の三大奇橋と呼ばれる歴史や、大洪水が起こった歴史を学びました。愛本姫社では、この地域に伝わる「お光伝説」についての話を聞きました。

黒部川の入り口、愛本近隣は地質や地形、歴史など見どころがたくさん点在しています。興味のある方は一度行ってみてはいかがでしょうか。

愛本神社

3/16　栗駒山麓ジオパークとの意見交換

3月16日、栗駒山麓ジオパークから専門員の原田さんと長谷川さんが、協会事務局を訪問されました。

宮城県の栗駒山麓ジオパークは昨年の11月に全国研修会が開催された所ですが、原田さんが富山大学在籍ということもあり、ジオパークの運営や活動について意見交換の機会を持つことになったものです。

意見交換の内容は、立山黒部ジオパークが民営化した経緯や運営組織・活動状況について、富山大学との連携について、たてくろだよりを含む地域の方に対する広報方法について等多岐にわたる内容となりました。

今堀事務局長からは民営化の経緯や利点、自治体運営の強み、ジオパークとして継続して運営するための配慮すべき点等について話され、栗駒のお二人も熱心に質問をされていました。その後は、ジオパークを活用しての教育やツーリズムの進め方、ジオフードの取り上げ方等について情報交換となりました。

お互いの活動の内容やその成果、問題点について顔を合わせてじっくりと話ができた有意義な時間でした。

今後も栗駒山麓ジオパークだけでなく、他の地域とも意見交換をしながら活動展開できればと思います。

栗駒山麓 GP 認定のお菓子

■イベントのお知らせ

うなづき友学館　3D 映像展示開始

うなづき友学館開館 30 周年記念事業　第 1 弾

うなづき友学館（黒部市歴史民俗資料館・黒部市立図書館宇奈月館）は、平成５年４月の開館から来月 30 周年を迎えます。また、開湯 100 周年を迎える宇奈月温泉や令和６年に一般開放される黒部宇奈月キャニオンルートの入り口にあたることから、多くのお客様に喜んでいただけるよう、うなづき友学館開館 30 周年事業を企画しています。

その第１弾として、「愛本刎橋の魅力」「黒部峡谷の歴史」の２本の映像が上映されます。３DCG を使用し刎橋の歴史や特徴を伝える１本と、黒部峡谷の魅力と電源開発や宇奈月温泉の発展を伝える１本です。

どちらもなかなか目にすることのない貴重な映像になっています。ぜひ友学館へお出かけください。

・設置場所　　黒部市歴史民俗資料館
　　（黒部市宇奈月町下立 682 番地）
・入　館　料　300 円
・展示開始日　令和５年３月 11 日（土）から

立山カルデラ砂防博物館

公募写真展　レンズが見た立山・立山カルデラ
ー大地と人の記憶ー

立山カルデラの風景や生き物、自然と調和する砂防えん堤や砂防工事とそれに携わる人々、そして砂防体験学習会参加者の感動の表情を捉えた写真を展示します。
https://www.tatecal.or.jp/tatecal/hot/2023/03/0304-0409/lens_r04_osirase.html

富山市科学博物館

プラネタリウム

プラネタリウムと３階展示室がリニューアルオープンしました。「水の惑星」「ダイナソーサバイバル」「ハナビリウム」を上映しています。詳しいスケジュールは以下のアドレスからご覧ください。
https://www.tsm.toyama.toyama.jp/?tid=103383

魚　津　水　族　館

親子で遊ぼう＼(^o^)／富山湾大水槽ネット遊具

バックヤードコーナーにネット遊具を設置！（おそらく日本初！）ネットの上から水面近くの魚の様子を、潜望鏡では水中の魚の様子を観察できます。
https://www.uozu-aquarium.jp/cms/view.php?c=573

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

景観生態学連続セミナー

「ジオパーク × 景観生態学の可能性」

「景観生態学」は，生態学、地理学、緑地学などと関わる「景観」という空間の諸特性を，様々なスケール，様々な視点から階層的に解明していこうとする学際的な学問です。

今回のセミナーでは、「ジオパークと地域づくり」をテーマに、ジオパークと景観生態学の相乗効果の可能性を探っていきます。

話題提供者として、國香研究教育部会長が参加され、「立山黒部ジオパークと魚津埋没林での取り組み」について発表される予定です。

＜開催日時＞
2023 年 5 月 11 日（木）
14:00 ～ 15:30
＜開催方法＞
ZOOM ウェビナー
＜参加費＞無料

山陰のジオパークの発表も予定されています。詳細については、後日会員メールなどでお知らせします。

ぜひご参加ください。

黒部市地域観光ギャラリー

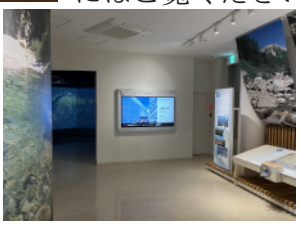
「ジオパークの仲間たちを紹介」

北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅の隣にある黒部市地域観光ギャラリーの２階は立山黒部ジオパークの拠点施設になっています。ここに、新幹線沿線の９つのジオパークを紹介する展示が作られました。デジタルサイネージ（ディスプレーを使用したデジタル広告）で、皆さんに見ていただけるようにしています。

東京から福井までのルート内にある秩父、下仁田、苗場山麓、浅間山北麓、糸魚川、佐渡、白山手取川、ふくい勝山に立山黒部を加えて全部で９地域の情報をご覧いただけます。

この製作には各地域のジオパークに多大なご協力をいただきました。

各地域のコンセプトや魅力あふれるサイトを季節ごとに紹介しています。ぜひ旅行などに出かけられる際にはご覧ください。



地域観光ギャラリ −2 階「山・川・海シアター」横に設置

■たてくろ　見どころ紹介コーナー

滑川のネブタ流し　夏越しの節供

水と火の禊

（滑川市：早月川エリア）

毎年 7 月 31 日に滑川市の中川原海岸（通称：和田の浜）で行われている民俗行事で、国指定重要無形民俗文化財に指定されています。

藁をむしろで包んで高さ 5 メートルほどの大たいまつをつくり、これを木で組んだやぐらに立て、野菜などで作った飾り物を挿すと、火をつけて海へ流します「ネブタ」とは、「ネムタ」ともいい、眠気のことを指していると言われます。この行事には、農繁期において作業の妨げとなる眠気や、新年から半年を経て心身についた「穢れ」を払い、流し去ろうという願いが込められており、虫送り・七夕・迎え盆の要素も入り混じっています。また滑川はこの種の行事において日本海側の南限に位置しています。

滑川のネブタ流しは、立山黒部ジオパークの文化サイトに登録されています。

https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=91

地区の人々に担がれて海の中に入るネブタ

＜編集後記＞

天気が良い日には、白い雪をかぶった立山連峰が青空に映え、その壮大で美しい姿に見惚れてしまいます。SNS ではその様子をとらえた写真が一気にアップされ、皆さんが立山を愛し心のふるさとにしているのが伝わってきますね。

間もなく４月。新しい年のスタートです。WBC ではキラキラした瞳で一生懸命に目標に向かって邁進する野球少年のような姿に勇気や夢をもらった方も多かったのではと思います。

会員の皆さんのチャレンジを応援したり、一緒に取り組んだりできる年にしていきたいです。

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援してくださる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会　（076-431-2089）までお問い合わせください。

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK